

# 平成18年度 施策評価シート

平成18年11月2日記入

## 総合計画における位置付け等

基本目標	学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	11510
政策名(章)	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります	評価担当部	市民部
基本施策名(節名)	第5節 社会保険制度の充実に向けて	評価担当課	国民年金課
施策名	国民年金制度の充実に向けて	課長名	河野 量行

## 1 施策の目的・概要(目的はわかりやすく記入)

国民年金制度は、老齢、障害又は死亡といった事故によって国民生活の安定が損なわれることを防ぎ、健全な国民生活の維持及び向上に寄与することを目的とする。このため、市民に国民年金制度の理解と認識を高めていただくとともに、制度の充実を国に働きかける。

平成12年4月の地方分権一括法により、保険料の収納事務は平成14年4月から国に移行するなど、国民年金事務は機関委任事務から法定受託事務となった。市の事務は第1号被保険者に関する基礎年金事務、老齢福祉年金事務及び国への協力・連携事務があり、本庁及び出張所で事務を執り行っている。相談業務の充実に向けては、国民年金推進相談員の配置や出張所職員も含めた研修を毎年実施している。

## 2 事業費・人員

年度	平成14年度(決算)	平成17年度(決算)	増減の主な理由
事業費		47,840	
人件費		189,175	
市民一人あたりの事業費	264	355	
合計	162,377	237,015	

\*人件費は、職員一人あたり H14:839万円、H17:805万円として算定。人口は、61.6万人(H15.4.1現在) 66.7万人(H18.4.1現在)とした。

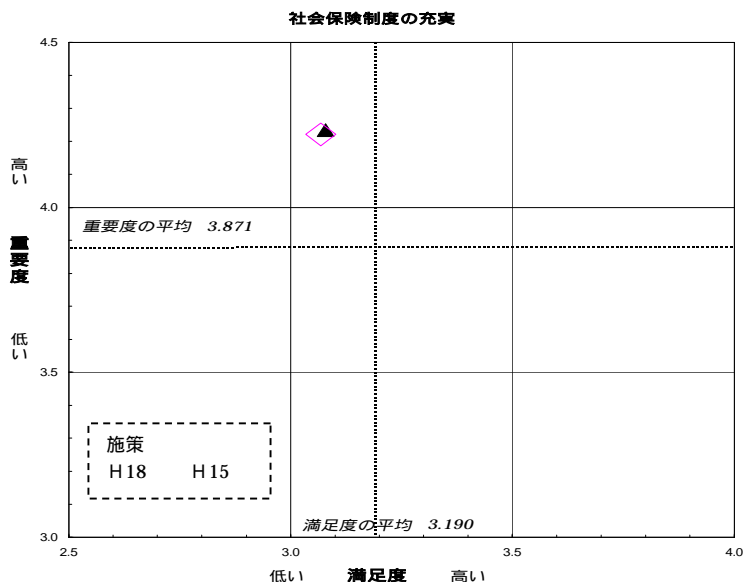
## 3 成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	基準値(単位)	基準年度
指標1	保険料の納付率(%) (収納実施月数 / 収納対象月数) × 100	保険料の納付率(%) 神奈川県 (収納実施月数 / 収納対象月数) × 100	62.60%	H16
指標2	国民年金に係る各種届出が適正に処理された割合(%) (適正に処理された件数 / 取扱い件数) × 100	国民年金に係る各種届出が適正に処理された割合(%) (適正に処理された件数 / 取扱い件数) × 100	100%	H16
指標3	年金相談件数(件)	窓口での相談・受付体制の充実、国民年金制度の普及・啓発を図るために配置している国民年金推進相談員の取扱い件数	11,640件	H16
指標4				
指標5				

	H17目標値/実績値	中間年度	中間年度の目標値	最終年度	最終年度の目標値	目標値の考え方(根拠)
指標1	70.2	18	73.70%	19	77.70%	社会保険庁が設定している神奈川県保険料納付率
達成率	92.6 %					
指標2	100	19	100%	21	100%	国民年金制度の目的を達成するため、市町村事務処理基準に従い適切な事務処理を行う。
達成率	100 %					
指標3	12,330	19	12,856件	21	12,856件	国民年金推進相談員の配置(人数)を現行どおりと想定し、現行の相談件数を維持する。
達成率	104.3 %					
指標4						
達成率	#DIV/0! %					
指標5						
達成率	#DIV/0! %					

#### 4 市民満足度調査結果(平成18年度実施分)

この施策の満足度は3.068で51施策の中で42番目。  
 重要度は4.221で7番目である。  
 改善要望度は0.3338で7番目である。  
 年齢別にみると、満足度は60歳代以上で高く、30、40歳代で低くなっている。  
 重要度は、順位でみると40歳代以上で上位10施策に入っている。  
 前回調査と比較すると、満足度、重要度とも施策の順位に大きな違いはみられない。  
 満足度の順位では、60歳代、70歳以上で前回調査より大幅に下がっている。  
 重要度の順位では、50歳代で前回調査より上がっている。



#### 5 1次評価(3つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	それぞれの視点に対して評価の具体的根拠	
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4(2)1	社会保険庁(国)で行っている保険料の納付率(収納)では、目標値に達していないが、市で行うべき事務処理の適正及び年金相談では目標どおりの成果をあげている。	
効率性	最少経費で最大効果が得られる事業構成となっている	4(2)1	組織体制(合併等)の変化により事務に従事している職員が増え、事業コストが増加しているが、成果も上がっている。	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4(2)1	重要度が高く、改善の可能性のある施策である。	
合計		8	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(12から10点) B(9から5点) C(4点以下)	1次評価 B

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

#### 6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	国民年金制度は、将来にわたり安心して生活できる社会を実現するために、きわめて重要であるが、国からの法定受託事務であるため、1市だけでは改善に限界がある。
解決策	市としては、国の市町村事務処理基準に従い適切な事務処理を行い、市民に対し、制度の理解と信頼を深めていただくことが大切である。そのために、社会保険庁や各種協議会が主催する研修、庁内で実施する研修を通じて職員の資質の向上を図るとともに、制度の改革や充実を国に要望していく必要がある。

#### 7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

	2次評価 B
--	-----------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

#### 8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価
--	------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

構成事務事業一覧

構成事務事業	事務事業 担当課	H15施策 の 優先順位	H15人員 (人)	H14決算額 (千円)	H18施策 の 優先順位	H17人員 (人)	H17人件費 (千円)	H17事業費決 算額(千円)	H17決算額 (千円)
国民年金事務運営費 国民年金事務事業	国民年金課	法	15.10	162,377	法	23.50	189,175	47,840	237,015
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
	計		15.10	162,377		23.50	189,175	47,840	237,015
	合計		15.10	162,377		23.50	189,175	47,840	237,015

構成事務事業一覧

構成事務事業	事務事業担当課	H15施策の優先順位	H15人員(人)	H14決算額(千円)	H18施策の優先順位	H17人員(人)	H17人件費(千円)	H17事業費決算額(千円)	H17決算額(千円)
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
	計		0.00	0		0.00	0	0	0